



ひとが輝き まちが輝く 北川副

まちづくりニュース

No. **15**
2018. 5
平成30年

●発行 北川副まちづくり協議会 【事務局：TEL0952-23-3086 北川副公民館内】

北川副校区桜まつり

主催：北川副まちづくり協議会

咲いた、咲いた、桜が咲いた

3月25日(日)、南佐賀公園で恒例の「北川副校区桜まつり」を開催しました。三分咲きの桜は、春を告げる土筆に誘われるように、天候にも恵まれ、ご来場いただいた皆さんの心身を癒してくれました。

テープカットに続きプログラムは進行しました。大正琴の音色に浮かれた幼児が大人顔負けの身振り手振りで踊り出す一場面もあり、カラオケでは自慢ののどを披露し、まつりは頂点に達しました。

自治会長会のおじさん、女性の会のお姉さんたちが前日から仕込んで作った、味付けも格別の焼きそばやカレーに舌鼓を打ちました。揚げ物やあんぱんも完売し、模擬店も上々の売上となりました。今年はウォーキング会や南京玉すだれの演芸、子供向けの輪投げ(子供ステーション)も加わり、大人も子供も一日楽しめた祭りとなりました。

(ふれあい部会、長寿会：西津昇)



桜のトンネルは多くの方で賑わいました



テープカットで桜まつりがスタート



健康ひろげ隊の「カロリーソング体操」



南佐賀公園には土筆もたくさん生えています



子供ステーションは魚釣りや輪投げで大盛況！



熱唱！カラオケ大会



面 浮 立



大 正 琴



南京玉すだれ



沖縄三線

行事報告

「どけいくかんだ!」ネットワーク事業発会式

4月25日(水)、「どけいくかんだ!」ネットワーク事業(徘徊高齢者事前登録制度)がスタートしました。事前登録対象者が行方不明になったらすぐに、「どけいくかんだ!」ネットワークの「はよう捜して!メール」により、自治会長、民生委員、福祉協力員など校区団体の方々やサポーターに登録した方々に連絡し、早い発見に努めます。迷い人、行方不明の人、家に帰られなくなった人へは、ぜひ声かけをお願いします。

(支えあい部会: 深川秀幹)

- 声のかけ方は
1. やさしく
 2. 急がせない
 3. 自尊心を傷つけない

早く発見して家族のもとに帰してあげましょう。

登録などの詳細は事務局にお尋ねください。
※北川副まちづくり協議会支えあい部会
「どけいくかんだ!」ネットワーク事業・事務局
おたっしや本舗城南 TEL 41-5770



発会式では寸劇でわかりやすく説明をしました

こどもの安全・防災マップ・まなざしチャレンジカード贈呈式

《新しい弟、妹の心と体を守りたいの! 強い思いがこもりました。》



今年度で「こどもの安全・防災マップ」の新入学生への贈呈も5回目となりました。毎年6年生の目線を取り入れて、内容を更新したものを配ってあげたいという前・原口北川副小学校長の強い思いで、地域の人、5年生、6年生の手を経て、ようやく出来上がり、入学式での贈呈に間に合いました。

子供たちにとって1つでもけがや事故が少なくなることを祈ります。

また、一緒に贈呈した「まなざしチャレンジカード」は地域の人と子供たちのより深い絆づくりのために、たくさん活用して貰いたいです。(心を育む部会: 福田英典)

「3・11東日本大震災の日」防災訓練

平成30年3月11日(日)に北川副校区で表記防災訓練が実施されました。北川副公民館で先ず北川副地区自主防災実践本部役員などの紹介に続き、各町区で早朝から行われた「情報伝達、避難誘導、安否確認」訓練の総括を行いました。次に、佐賀市消防防災課の野田専門官から防災、減災の講話があり、簡易トイレなど避難所用品の紹介の後、参加者で土のう作り訓練を行いました。最後に、女性の会の皆さんによる炊き出し訓練で、にぎっていただいたおにぎりで締めました。

(事務局長: 横尾浩明)



土のう袋詰め訓練



防災かまどでの炊き出し訓練

佐賀市地域づくり交流会

「出会いがツナグ~みんながツムグ未来~」



北川副まち協の特徴を登壇発表



パネルで活動の成果を展示

平成30年2月19日(月)、グランデはがくれで表記大会が開催されました。市内各校区のまちづくり協議会、市民活動団体、企業、学生団体などから、多くの市民が参加して、イベントが行われました。北川副校区からは協働事例発表として、福田会長、横尾事務局長、大園企画委員長が北川副まちづくり協議会の事例を発表しました。参加者からは北川副はどうしてそんなことができるのかなど反響があり、後日、中川副まちづくり協議会から講演依頼があるほどでした。また、ワールドカフェや活動パネル展などでも北川副校区の取り組みを報告しました。

(事務局長: 横尾浩明)